

入学試験過去問題
数 学

東京大学（文科）

対象年度：2026年

試験時間：100分

問題数：4問

第 1 問

正の実数 k および $\alpha < \beta$ となる実数 α, β が次の条件を満たすように動く。

条件： 座標平面上の放物線 $C: y = k(x - \alpha)(\beta - x)$ の頂点は $(-3, 1)$ であり、 C は y 軸と $-2 \leq y \leq 0$ の範囲で交わる。

このとき、 C と x 軸で囲まれる図形の面積 S のとりうる値の範囲を求めよ。

第 2 問

n を正の整数とする。座標平面上の $3n$ 個の点がなす集合

$$\{(x, y) \mid x, y \text{ は } 1 \leq x \leq 3, 1 \leq y \leq n \text{ を満たす整数}\}$$

から相異なる 3 点を選ぶ。ただし、どの 3 点も等確率で選ばれるものとする。選んだ 3 点が三角形の 3 頂点となる確率を p_n とする。

- (1) p_5 を求めよ。
- (2) m を 2 以上の整数とする。 p_{2m} を求めよ。

第 3 問

$0 < a < 1$ とし、関数 $f(x)$ を

$$f(x) = \frac{a}{8}(x-1)^2 + \frac{2}{a} - 3$$

と定める。

また、関数 $g(x)$ を次のように定める。整数 n に対し、

$$\begin{aligned} 2n \leq x < 2n+1 \text{ のとき} & \quad g(x) = x - 2n \\ 2n+1 \leq x < 2n+2 \text{ のとき} & \quad g(x) = -x + 2n + 2 \end{aligned}$$

とする。

- (1) $x \geq 4$ において $f(x) > g(x)$ を示せ。
- (2) $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$ とする。座標平面上の $y = f(x)$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフの $x \geq 0$ の範囲における共有点の個数を求めよ。

第 4 問

k を実数とし、座標平面上の曲線 C を $y = x^3 - kx$ で定める。 C 上の 2 点 P, Q に対する以下の条件 (*) を考える。

条件 (*) 原点 O , 点 P , 点 Q は相異なり、 C の O, P, Q における接線のうち、どの 2 本も交わり、そのなす角はすべて $\frac{\pi}{3}$ となる。

ただし、2 直線のなす角は 0 以上 $\frac{\pi}{2}$ 以下の範囲で考えるものとする。

- (1) $-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{6}$ とする。 $\tan\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right)$ を $\tan\theta$ を用いて表せ。
- (2) 条件 (*) を満たす P, Q が存在するような k の範囲を求めよ。
- (3) k が (2) で定まる範囲にあるとする。 P, Q が条件 (*) を満たすように動くとき、 C の O, P, Q における接線によって囲まれる三角形の面積 S の最大値を M , 最小値を m とおく。ただし、3 本の接線が 1 点で交わる時は $S = 0$ とする。 $M = 4m$ となる k の値を求めよ。